

【販路開拓支援実績報告】

1. 周知方法

商工会HP、会員案内チラシ（別紙）及び巡回訪問

2. 販路開拓支援

(1) イベント名 : 2019 町イチ村イチ

①ねらい : 全国の町村の魅力をアピールするイベントに出展して、壮瞥町商工会地区の特産品の販路拡大と知名度向上、他社商品動向を調査する。

②日時 : 令和元年11月30日(土)～12月1日(日)

③場所 : 東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内)

④主催者 : 全国町村会

⑤来場者数

48,000人/2日間

⑥支援事業者数 1社



(2) イベント名 : 北の味覚再発見 展示・商談会

①ねらい : バイヤーや流通業者との商談機会を提供し、需要拡大と消費者ニーズを把握する機会を提供する。

②日時 : 令和元年10月29日(火)

③場所 : ホテル札幌ガーデンパレス

④主催者 : 北海道商工会連合会

⑤支援事業者数

1社(道内45社出展・バイヤー79企業)

⑥来場者数

約300人



(3) 雑誌じゃらんへの広告掲載

①ねらい

北海道で一番読まれている情報誌「北海道じゃらん」に壮瞥町商工会エリアの地域特産品や旬の情報を掲載し、読者に旬の情報を提供して来店客数の増加を目指す。

また、奥洞爺事業の振興策として雑誌掲載を行う。

②掲載時期

じゃらん10月号（9月20日発売）

③広告内容

・地域特産品を用いたメニュー等の個店情報、エリア情報など2P広告

④読者アンケート調査

・インターネットによる回答  
(回答者：893名)



図：アンケート入力画面

⑤広告宣伝・調査費

・766,800円（税込）



図：じゃらん10月号

(4) イベント名：丹波ワインとの互産互消プロジェクト

①ねらい：ワイン用ブドウの町内試験栽培を始めた丹波ワインの商品と壮瞥町商工会地域の農産品及びその加工品の認知度向上、販路拡大や売上増加をめざして、ローカル地域相互が交流し、地域の魅力に気づき・磨き上げ、相互地域が経済的活性化を実現して地方創生の一役を担う。また、長期的には関係するローカル地域の販売拡大を目指していく。

②日時：令和元年10月26日(土)

③場所：丹波ワイン(株) ワインショップ

④共催者：丹波ワイン(株)、壮瞥町商工会

⑤支援事業者数  
2社(10品)

⑥来場者数  
約100人(内試飲50名)

⑦参考資料  
写真参照



写真：互産互消展示状況(サムズ)



写真：試飲状況(丹波ワイン)